

令和元年度
埋蔵文化財調査士補
資格試験

【I】択一式問題・答案用紙

| 受験番号 | 氏名 |
|------|----|
| | |

試験日：令和元年8月31日（土）

会場：東京御茶ノ水「連合会館」

公益社団法人 日本文化財保護協会

問1 埋蔵文化財調査士補の資格説明で、正しいものはどれか。

- A. 埋蔵文化財調査士補は、作業員の指導のみできる。
- B. 埋蔵文化財調査士補は、発掘現場を統括し適切に実施できる者をいう。
- C. 埋蔵文化財調査士補は、発掘調査から報告書作成まで一貫して行う者をいう。
- D. 埋蔵文化財調査士補は、埋蔵文化財調査士よりも年齢が低い。

| | |
|----|---|
| 問1 | B |
|----|---|

問2 継続教育（CPD）制度で、正しいものはどれか。

- A. 埋蔵文化財調査士補は、CPDポイント不足による未更新者であっても受験資格条件である実務経歴や要望があれば、特例として埋蔵文化財調査士の受験資格を与えられる。
- B. 埋蔵文化財調査士補は、CPDポイントを5年間で100ポイント以上を取得すれば埋蔵文化財調査士の資格を与えられる。
- C. 埋蔵文化財調査士・士補の資格取得後は、自主的に新しい調査技術、調査成果の習得と考古学研究への参加に努めることがCPD制度の目的である。
- D. 所定の継続教育CPDプログラムで、博物館のワークショップ参加でCPDポイントが取得できる。

| | |
|----|---|
| 問2 | C |
|----|---|

問3 次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- A. 災害事故発生時、刑事・行政・民事の三重責任が問われることがある。
- B. 事業主は被災労働者に対して労災保険に基づいて適切な手続きを行い、本人にも労災保険から適切な法定補償が行われた。しかし、後日突然に事業主宛に損害賠償を請求する訴状が被災労働者から届いた。
- C. 発掘現場の作業中による災害の場合は、警察が現場に捜査に入ることはない。
- D. ある日突然、労働基準監督官が現場に入ってきて、現場における安全衛生法違反があるのかないのかを調査すると言われた。

- A. AとD
- B. AとC
- C. BとC
- D. BとD

| | |
|----|---|
| 問3 | D |
|----|---|

問4 安全衛生管理体制に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

- A. 製造業を営むA社は、今年4月に新入社員を15名採用したことにより常時使用する労働者の数が114名になったので、総括安全衛生管理者を選任しなければならない。
- B. 製造業を営むB社は、今年4月に新入社員を15名採用したことにより常時使用する労働者の数が314名になったので、総括安全衛生管理者を選任しなければならない。
- C. 製造業を営むC社は、今年4月に新入社員を5名採用したことにより常時使用する労働者の数が48名になったので、安全管理者を選任しなければならない。
- D. 製造業を営むD社は、今年4月に新入社員を5名採用したことにより常時使用する労働者の数が54名になったが、まだ産業医を選任する必要はない。

| | |
|----|---|
| 問4 | B |
|----|---|

- 問5 危険性又は有害性の調査等（リスクアセスメント等）について正しいものはどれか。
- A. 現場作業が開始された後に発見されたリスクを対象として、重大性、発生可能性を評価し、その結果から重大なリスクに対して対策を実施していく手法である。
 - B. リスクアセスメント等は、日本から始まって世界的に用いられるようになった安全管理の手法である。
 - C. リスクアセスメント等を適切に実施しても結果として残留リスクは発生するものである。
 - D. リスク低減措置の優先順位は、1. 本質的対策（計画段階での措置等）、2. 工学的対策、3. 管理的対策の3段階である

| | |
|----|---|
| 問5 | C |
|----|---|

- 問6 ある発掘現場の状況に関する次の記述で明らかに法令違反となるものはどれか。
- A. 勾配が25度の架設通路に「踏み棧」が設けられていた。
 - B. 掘削面の高さが2 m以上であったので、有資格者の中から作業主任者を任命した。
 - C. 現場に設置されていたハシゴの突出しが50cmであった。
 - D. 発掘箇所が地面から深さ1.1mであったが、この現場は20才～30才の若者だけで作業をおこなっており簡単に昇り降りが可能であり、作業日数も3日間だけなので、ステップ等は設けなかった。

| | |
|----|---|
| 問6 | C |
|----|---|

- 問7 ある発掘現場では、掘削した土を運ぶ目的でコンベアを使用しているが、次の記述でまちがっているものはどれか。
- A. 使用しているコンベアは逸走防止装置付である。
 - B. 現場のルールとしてコンベア上への搭乗を許可している。
 - C. 使用しているコンベアは非常停止装置付である。
 - D. 使用しているコンベアは感電防止用漏電遮断装置付である。

| | |
|----|---|
| 問7 | B |
|----|---|

- 問8 文化財保護法第92条の発掘届は何日前までに提出するのか。
- A. 前日前
 - B. 10日前
 - C. 30日前
 - D. 60日前

| | |
|----|---|
| 問8 | C |
|----|---|

- 問9 埋蔵文化財保護法第99条の調査の場合、現場担当者が調査状況から工程の遅れを予測したとき、どのような処置が必要か。
- A. ただ黙って調査を推進することに全力を傾ける。
 - B. 行政担当者に報告し、協議を行う。
 - C. 会社に報告し、指示を仰ぐ。
 - D. 事業者と協議する。

| | |
|----|---|
| 問9 | B |
|----|---|

問10 現地調査終了後、遺物の「発見届」を提出するが、どこにいつまでに提出するか。

- A. 文化庁へ1ヶ月以内 B. 都道府県教育委員会へ1ヶ月以内
C. 市町村教育委員会へ1週間以内 D. 所管の警察署へ1週間以内

| | |
|-----|---|
| 問10 | D |
|-----|---|

問11 文化庁が定める埋蔵文化財調査の対象は通常どの時代までになっているか。

- A. 中世まで B. 近世まで
C. 近代まで D. 戦前まで

| | |
|-----|---|
| 問11 | A |
|-----|---|

問12 明治12年、日本人の研究者により最初に発掘された遺跡はどこか。

- A. 西ヶ原貝塚 B. 陸平貝塚
C. 大森貝塚 D. 足利公園古墳

| | |
|-----|---|
| 問12 | B |
|-----|---|

問13 昭和12年、大量な遺物が出土した弥生時代の代表的遺跡はどこか。

- A. 登呂遺跡 B. 遠賀川遺跡
C. 唐古池遺跡 D. 志村遺跡

| | |
|-----|---|
| 問13 | C |
|-----|---|

問14 岩宿遺跡に続いて発掘された旧石器時代遺跡はどこか。

- A. 茶臼山遺跡 B. 上ノ平遺跡
C. 茂呂遺跡 D. 矢出川遺跡

| | |
|-----|---|
| 問14 | C |
|-----|---|

問15 縄文土器の起源について山内と芹沢の論争を生んだ遺跡はどこか。

- A. 夏島貝塚 B. 本ノ木遺跡
C. 神子柴遺跡 D. 立川遺跡

| | |
|-----|---|
| 問15 | B |
|-----|---|

問16 弥生時代の再葬墓遺跡として出流原遺跡が有名ですがもう一ヶ所あげればどこか。

- A. 岩櫃山遺跡 B. 須和田遺跡
C. 宮ノ台遺跡 D. 久ヶ原遺跡

| | |
|-----|---|
| 問16 | A |
|-----|---|

問23 次の文章のカッコ内をうめる用語を選びなさい。
問24

江上波夫は戦後まもなく騎馬民族征服王朝説を発表して、日本列島の騎馬文化を大陸からの移動と解釈したが、これに真っ向から反論したのは①（ ）である。その根拠は騎乗を証明する馬具の②（ ）の古墳への副葬をあげている。

- ① A. 樋口隆康 B. 佐原真
C. 小林行雄 D. 小野山節
- ② A. 轡（くつわ） B. 鐙（あぶみ）
C. 鞍 D. 鉄蹄

| | |
|-------|---|
| 問23 ① | C |
| 問24 ② | B |

問25 次の文章のカッコ内を埋める言葉を選びなさい。

今日のように中世遺跡の発掘調査が盛んになる以前から、（ ）の調査・研究は主として外形的特徴を観察して行われていた。

- A. 山城 B. 貝塚
C. 製鉄遺跡 D. 居館

| | |
|-----|---|
| 問25 | A |
|-----|---|

問26 次のうち、近世の城下町遺跡でないのはどれか。

- A. 仙台 B. 小田原
C. 名古屋 D. 堺

| | |
|-----|---|
| 問26 | D |
|-----|---|

問27 近世磁器窯の発掘調査の端緒を開いたのは、次のうちどの窯跡か。

- A. 有田天狗谷窯 B. 備前北大窯
C. 伊良湖東大寺瓦窯 D. 陶邑窯

| | |
|-----|---|
| 問27 | A |
|-----|---|

問28 次のうち、いわゆる織豊系城郭でないのはどれか。

- A. 安土城 B. 浪岡城
C. 伏見城 D. 名護屋城

| | |
|-----|---|
| 問28 | B |
|-----|---|

問29 幕末に欧米の設計技術をもとに造られた施設でないものはどれか。

- A. 函館五稜郭
- B. 品川台場
- C. 長崎出島
- D. 蕪山反射炉

| | |
|-----|---|
| 問29 | C |
|-----|---|

問30 中世都市鎌倉は、当初どのような経緯のもとに発掘調査が行われてきたか。

- A. 全域を史跡指定するために計画的に実施された。
- B. 市中の開発に伴う小規模な発掘調査を積み重ねてきた。
- C. 市域全体の大規模再開発計画に伴って順次行ってきた。
- D. 中世都市鎌倉の構造を知るため、学術目的の調査として実施された。

| | |
|-----|---|
| 問30 | B |
|-----|---|

問31 近世の火山噴火は、一定の地域に大きな影響を残した一方、堆積したテフラは地層の年代決定に活用されている。次のうち、近世のテフクロノロジーに関係しない火山はどれか。

- A. 樽前山
- B. 十和田火山
- C. 浅間山
- D. 富士山

| | |
|-----|---|
| 問31 | B |
|-----|---|

問32 遺跡探査の特徴・方法の説明として正しくないものはどれか。

- A. 発掘調査と異なり非破壊的な調査方法である。
- B. 地中に発信したレーダー波の反射波により地中の様子を推定する方法がある。
- C. 地形図・衛星写真・レーザー測量成果を用いた探査の方法もある。
- D. 電気探査は他の手法に比べて簡便だが浅い深度までしか調査できない。

| | |
|-----|---|
| 問32 | D |
|-----|---|

問33 SfM/ MVS法による写真計測について正しくない記述はどれか。

- A. 特殊な専用の撮影装置を必要とする。
- B. 撮影位置や角度は厳密に設定する必要はない。
- C. 複数のステレオ画像のペアから対象表面の立体的な点群を生成する。
- D. 専用のソフトウェアにより容易に実施できる。

| | |
|-----|---|
| 問33 | A |
|-----|---|

- 問34 発掘調査による遺跡・遺構の図化について正しくない記述はどれか。
- A. 発掘調査時点の記録をのみ図化する。
 - B. 遺物に関する情報と組み合わせた図化も必要により行なうべきである。
 - C. 多くの属性を一つの図に取り込むと、読み取りを阻害することがある。
 - D. 発掘調査で取得された情報を第三者が読み取り可能なかたちに図化する重要な作業である。

| | |
|-----|---|
| 問34 | A |
|-----|---|

- 問35 発掘調査記録における写真撮影について正しくない記述はどれか。
- A. 記録保存のためのデジタルカメラはフルサイズ・センサー搭載機が望ましいとされる。
 - B. 発掘調査に関するあらゆる写真記録は静止画像のみによって行うべきである。
 - C. 銀塩フィルム・カメラの製造は急速に縮小しており、デジタルカメラへの置換が必須である。
 - D. デジタルカメラでは一般的なJPEG型式だけでなくRAWデータを保存するべきである。

| | |
|-----|---|
| 問35 | B |
|-----|---|

- 問36 発掘調査の情報処理において重要な事柄として正しくない記述はどれか。
- A. 発掘調査の情報処理は、他の発掘調査に反映されることでさらに有効活用される。
 - B. 発掘調査を改善するためには、記録・情報を相互に参照・利用できるようにすべきである。
 - C. 発掘調査の情報処理は、作業工程ごとに完結していれば良い。
 - D. 発掘調査の情報処理は、情報やデータの相互参照性や互換性が重視されるべきである。

| | |
|-----|---|
| 問36 | C |
|-----|---|

- 問37 考古学における遺物実測の方法について正しくない記述はどれか。
- A. 手測りによるほか、写真トレース、三次元計測などの方法がある。
 - B. 手測りによる図化は、精確さ、再現性にもっともすぐれている。
 - C. 三次元計測データを利用すると、展開図や断面図の作成が容易である。
 - D. 手測りによる遺物の図化は、最小限の道具があれば実施できることが利点である。

| | |
|-----|---|
| 問37 | B |
|-----|---|

- 問38 奈良文化財研究所が運用・公開している報告書検索・閲覧システムとして正しいものはどれか。
- A. 発掘調査報告書検索システム
 - B. 発掘調査資料総覧
 - C. 全国発掘調査報告書一覧
 - D. 全国遺跡報告総覧

| | |
|-----|---|
| 問38 | D |
|-----|---|

問39 デジタルデータ利用において、PDFなど事実上の標準形式を用いる利点として正しくないものはどれか。

- A. すべて無償である。
- B. 特定のソフトがなくてもデータの受け渡しや編集加工ができる場合がある。
- C. 相互運用性があるため、デジタルデータを利用した作業工程を効率化できる。
- D. 特定の企業等が開発・採用した形式であるが、広く第三者にも用いられているものである。

| | |
|-----|---|
| 問39 | A |
|-----|---|

問40 植物珪酸体分析と分析目的で不適切な組み合わせはどれか。

- A. カマドでイネ科植物が燃やされていないかどうかを植物珪酸体分析で調べる。
- B. 稲作がおこなわれていたかどうかを植物珪酸体分析で調べる。
- C. マメ類が栽培されていたかどうかを植物珪酸体分析で調べる。
- D. 出土した灰のなかに稲粃がふくまれているかどうかを植物珪酸体分析で調べる。

| | |
|-----|---|
| 問40 | C |
|-----|---|

問41 樹種同定用試料採取において間違っていることはどれか。

- A. 1 cm角程度の試料を採取することが望ましい。
- B. 木口、柾目、板目の3断面の切片を採取する必要がある。
- C. 炭化材は、乾燥させた方が、樹種同定や年代測定用試料として使いやすい。
- D. 生材は、乾燥させた方が、樹種同定や年代測定用試料として使いやすい。

| | |
|-----|---|
| 問41 | D |
|-----|---|

問42 14Cの濃度が現代(1950年)と比べて1/4の場合、その試料は何年前を示すか。

- A. 約5750年前
- B. 約11500年前
- C. 約23000年前
- D. 約46000年前

| | |
|-----|---|
| 問42 | B |
|-----|---|

問43 植物遺体で年代測定を行う場合、あらかじめ種類を調べておいたほうが良い。その理由として、間違っているものはどれか。

- A. 針葉樹など長寿な木材の場合は、分析結果を検討する際に考慮が必要だから。
- B. 暦年較正を行う際に必要だから。
- C. 地下茎や根など後代の植物遺体が混じっている可能性があるから。
- D. 試料の状態によって分析方法を検討する必要があるから。

| | |
|-----|---|
| 問43 | B |
|-----|---|

問44 イネ科草本類と考えられる炭化植物片で年代測定を行ったら、暦年較正で1500年前を示し、 $\delta^{13}\text{C}$ の値は-25‰であった。考えられる結果はどれか。

- A. 炭化植物片は1500年前の試料で、イネやムギなどイネ科C4植物の可能性はある。
- B. 炭化植物片は1500年前の試料で、ススキやアワなどイネ科C4植物の可能性はある。
- C. 炭化植物片は1500年前の試料で、イネやムギなどイネ科C3植物の可能性はある。
- D. 炭化植物片は1500年前の試料で、ススキやアワなどイネ科C3植物の可能性はある。

| | |
|-----|---|
| 問44 | C |
|-----|---|

問45 出土木製品の仮保管の注意点として誤っているものはどれか。

- A. 木製品のビニールパック保存では、なるべく大量の水を入れてシールする。
- B. 水中保管時に防腐剤を使用する場合は、人体への悪影響に配慮し安全管理に注意する。
- C. 木製品の長期の水中保管時にタオルなどを巻いておくのは避けるべきである。
- D. 出土木製品を乾燥させると数分の一以下の重さになってしまうことがある。

| | |
|-----|---|
| 問45 | A |
|-----|---|

問46 出土遺物の理化学的分析についての説明として誤っているものはどれか。

- A. 分析を依頼する際には、遺物や遺跡等に関する各種情報を提供すると良い。
- B. 遺跡発掘調査報告書に分析結果を載せる場合は、発掘担当者と分析担当者の連携が望ましい。
- C. 出土遺物の非破壊分析では、厳密な定量分析値が得られない場合がある。
- D. AMS¹⁴C年代測定法では、植物起源のものだけが分析対象になり得る。

| | |
|-----|---|
| 問46 | D |
|-----|---|

問47 鉄が錆びる時の説明として誤っているものはどれか。

- A. 鉄が錆びる時に遺物が破壊されるのは、体積が減るからである。
- B. 鉄錆の進行に塩化物イオンや硫酸イオンの存在は悪影響を及ぼす。
- C. 鉄が錆びる時、体積と重量はともに増加する。
- D. 鉄のサビには赤サビ以外にもいくつかの種類がある。

| | |
|-----|---|
| 問47 | A |
|-----|---|

問48 保存処理における「可逆性」についての説明として誤っているものはどれか。

- A. 保存処理工程の中には土やサビの除去など完全に元に戻すことができない作業もあるので、厳密な意味では「可逆性」を維持できないことがある。
- B. 保存処理における「可逆性」とは、遺物製作時の形状に復元できる度合いを示す言葉である。
- C. 保存処理において詳細な作業記録を残しておくことは、後で再処理する場合に有効である。
- D. 保存処理に当たっては、将来やり直しが必要になった場合に不都合が生じないように適切な材料・手法を選ぶ必要がある。

| | |
|-----|---|
| 問48 | B |
|-----|---|

- 問49 出土金属製品の現場での補強・養生の注意点として誤っているものはどれか。
- A. のちの保存処理の妨げになるような材料を用いた補強・養生は避ける。
 - B. 使用する薬剤によっては危険なものがあるので、換気・火気に注意し、手袋・ゴーグル・マスク等の防護具を着けること。
 - C. 測量・記録・写真等が済んだら速やかに取り上げて仮保管するのが良い。
 - D. 遺物は乾燥を避け、なるべく地中と同じ条件に保つよう水分を補給する。

| | |
|-----|---|
| 問49 | D |
|-----|---|

- 問50 青銅製品のサビの説明として誤っているものはどれか。
- A. 青銅製品のサビには、緑色のほか青や赤など他の色のサビもある。
 - B. 青銅製品には各種のサビが存在するが、鉄製品と違って粉末になるようなサビはない。
 - C. 塩化物イオンや硫酸イオンの存在は、青銅製品のサビの進行に悪影響を及ぼす。
 - D. 青銅製品のサビの中には、ブロンズ病など深刻な劣化を招くものがある。

| | |
|-----|---|
| 問50 | B |
|-----|---|